

第 1 回総会議事録（R 4 年 1 月）

都城市農業委員会

1 日 時 令和4年1月28日 午前9時30分～

2 場 所 中央公民館大会議室

3 委 員

出	1 徳益 吉明	出	2 柿並 マリ子	出	3 轟木 保紘 (会長)	出	4 有川 はつ子
出	5 山中 美代子	出	6 重富 保	出	7 長谷場 平	出	8 恒吉 勇二
出	9 坂上 和秋	出	10 永田 勇作	出	11 竹田 功	出	12 松枝 みどり
出	13 松山 忠雄	出	14 北園 紘美	出	15 田中 加代子	出	16 紺家 知征
出	17 宮田 信行	出	18 井ノ上 洋一	出	19 飯盛 由紀子	欠	20 田中 操
出	21 乙守 賢次	出	22 藤森 和代	出	23 志戸 春雄 (職務代理)	出	24 小野 籍雄

4 事 務 局

局 長 下鶴 浩一

主 幹 野崎 洋一

主 査 税所 久和

副主幹 横山 百合子 (山之口総合支所)

副主幹 米満 里美 (山田総合支所)

農政課副課長 平川 玲二

農政課主事 氏原 明裕

次 長 福丸 好文

主 査 横山 いづみ

主 事 鬼束 純平

副主幹 山波 幸二 (高城総合支所)

副主幹 山元 裕三 (高崎総合支所)

農政課主事 高田 真太郎

5 付議案件

報告第1号 農地法第18条第6項の規定による通知について

報告第2号 許可書の返戻について

報告第3号 農業経営基盤強化促進法第18条第1項による承認案件の無効報告について

議案第1号 農業経営基盤強化の促進に関する基本的な構想の見直しに係る意見決定について

議案第2号 令和4年度標準農作業料金及び賃金表の決定について

議案第3号 農地利用状況調査等の結果に伴う非農地判断について

議案第4号 農地法第3条許可申請による農業委員会の許可決定について

議案第5号 農地法第4条許可申請による農業委員会の意見決定及び許可決定について

議案第6号 農地法第5条許可申請による農業委員会の意見決定及び許可決定について

議案第7号 農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定による農業委員会の決定について

議案第8号 農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定による農業委員会の決定について (中間管理事業)

第1回総会議事録

議長 　ただ今より令和4年の第1回総会を開催いたします。本日の委員の出欠につきましては1名欠席で、23名の出席ですので開催については問題ございません。続いて議事録署名人を指名いたします。本日は1番委員と2番委員にお願いしたいと思いますので、よろしくお願いします。

　では、審議に移ります。本日は報告案件3件と議案8件でございます。まず報告案件ですが、3件まとめていきたいと思います。報告第1号農地法第18条第6項の規定による通知について、報告第2号許可書の返戻について、そして報告第3号農業経営基盤強化促進法第18条第1項による承認案件の無効報告について、まとめて事務局の説明をお願いします。

事務局 　ご報告いたします。まず報告第1号農地法第18条第6項の規定による通知についてですが、今月は23件の通知で、49,258.00㎡の内容となっています。

　次に報告第2号許可書の返戻についてでございます。議案書は13ページになります。今月は2件の返戻が来ておりまして、いずれも5条許可の返戻となっています。それぞれの理由については、備考欄に記載してあるとおりでございます。

　最後に報告第3号農業経営基盤強化促進法第18条第1項による承認案件の無効報告についてでございますが、議案書は14ページの方になります。2件ございますが、いずれも先月の総会に上がった案件となっています。上の案件1があっせん案件ですが、取下げの申請がございましたので、このあっせんを無効としたものです。下段の案件は中間管理事業案件になりますが、申請されていた8筆の農地の内、4筆に転用計画があったことが後日判明したことから、この4筆について取下げがなされたものでございます。以上でございます。

議長 　ただいま、報告案件3件の説明が終わりましたが、何かご質問はございませんか。

全委員 　無し（の声あり）

議長 　無いようですので、報告第1号、報告第2号そして報告第3号につきましては、ただいまの報告どおり承認するものといたします。続きまして、議案の審議に入ります。まず議案第1号農業経営基盤強化の促進に関する基本的な構想の見直しに係る意見決定についてを議題といたします。議案に対する説明をお願いいたします。

農政課担当 　本日は農業経営基盤強化の促進に関する基本的な構想の改正案についてご説明させていただきます。事前に配布いたしました資料についてご説明いたします。資料は3部ございまして、資料1は農業経営基盤強化の促進に関する基本的な構想の今回の案です。それから資料2は現行の農業経営基盤強化の促進に関する基本的な構想で、平成28年度に策定されたものとなっております。最後の資料は、今回の改正案と現行のものとの新旧対照表となっています。ではこれより内容について説明をさせていただきます。

＜修正2箇所の説明後、事前配布の資料1に沿って内容説明＞

議長 　ありがとうございました。説明が終わりましたが、これについて何かご質問はございませんか。

6 番 委員 6 番です。私の認識不足だったかも知れませんが、少し教えてください。資料 1 の 1 ページに出てくる経営耕地面積が 8,200 ヘクタール程で書いてあるんですが、私の記憶では都城市は 12,000 から 13,000 くらいあったような気がするんですが、この数値はどこを捉えているのでしょうか。

農政課担当 こちらの数値につきましては、農林業センサスですね、令和 2 年度確定版の方から持ってきた数値となっています。委員のご記憶の数値が何かは判らない訳ですが、こちらはセンサスの数値ということです。

6 番 委員 これは前の都城市ではなく、現在の 1 市 4 町の都城市での数値ですよ。

農政課担当 そのとおりです。

議 長 もうよろしいですか。他にはございませんか。

1 番 委員 1 番です。都城市の積算が 670 万、県が 640 万という、この積算の違いはどういうところから来るのでしょうか。というのも一般的な賃金とかも都城市の方が低いし、農業で見ても宮崎の方が高いような気がしたので、どうしてかなあと単純に思ったので教えていただきたいのですが。

農政課担当 お答えします。先ほどの県が出した数値というのは、県全体の市町村平均で出されているもので、それが 640 万ということで、都城市だけで考えますとそれより少し高くなるということです。また、宮崎市と比べれば、逆に都城市が低いという結果になるだろうと思います。

1 番 委員 先ほどの説明では、宮崎市の方が低いという話ではなかったですかね。

農政課担当 先ほどの、宮崎市も県の平均所得を超えてしまうので、県の水準に下げて設定しているという内容でございました。

17 番委員 17 番です。資料 1 の 5 ページにですね、「新たに農業経営を営もうとする青年等の確保に向けた都城市の取組」とありますが、以前私のところに、施設キュウリの研修生という方が来られてですね、遊んでいるハウスの資材、鉄骨を紹介してほしいということで、私もいろいろと仲介したりして手を尽くしたけど、なかなかうまくいかなかったんですよ。その方はこれから自分で畑を探して買って、施設キュウリをやりたいということだったんですが、農地をどうやって取得すればいいのかとかもよく判っていないようで、「中間管理事業がある」とか「農政課にも相談すれば」とかの話はできますが、なんかそういうことも判ってない若手の方がおられるようだと考えるとですね、そういう人を導いていけるような、普及センターなり J A なり一括してまとめて相談できる窓口がほしいなという気がしているんですよ。そういう若手の担い手が安心して営農できるようにですね、ここに文言では書いてあるんですが、具体的なサポートシステムがあった方がいいんじゃないかなと思っています。

農政課担当 新規就農の件で農政課に相談に来られた場合には、農業委員会を案内させていただいたり、場合によっては農業委員会の担当者に来ていただいて一緒に話を聞いてもらって、具体的な手続きの話もするというようなことをしています。また、市の事業であつたり、国の事業であつたり補助事業等もございますので、その場合には、普及センターや振興局、あと J A も含めてですね、検討会を一度やって、その中でどの方向でいけるか、国の事業でいければ、そちらでサポートしましょうとか、国が難しければ、市の方の事業で何かできないとかいうようなサポートは現在行なっております。市の方へ相談に来て、その後普及センターに相談して、検討会を開きますよというようなサポート体制になっていますので、そういう方がおられたら、ぜひ農政課に相談するように言っていただけたら良いかと思います。以上です。

16番委員 16番です。都城もスマート農業を推進されていると思います。認定農家等にアンケート調査も今、回っている最中で、私も返答したところなんですが、そこでひとつ疑問がありまして、これからスマート農業を推進されるにあたって、植物工場というのがあると思うんですが、この植物工場は農業基盤に入るのか、それとも工場なのか、その辺が良く判らないんです。植物工場は農業になるのか、工業になるのか、その辺の位置付けは決まっているのでしょうか。

農政課担当 申し訳ありません。今の質問については、ここでお答えする用意がないので、後日回答させていただくということをお願いします。

議長 持ち帰りということですが、それでよろしいですね。もう他に質問はございませんか。無ければ採決いたしますが、よろしいでしょうか。

全委員 無し（の声あり）

議長 質問が無いようですので採決いたします。議案第1号農業経営基盤強化の促進に関する基本的な構想の見直しに係る意見決定について、ご同意いただける方は挙手をお願いします。

全委員 （全委員挙手）

議長 全委員挙手でございます。よって、議案第1号については、承認するものといたしました。ありがとうございました。

農政課担当 （退席）

議長 次に議案第2号令和4年度標準農作業料金及び賃金表の決定についてを議題といたします。事務局の説明をお願いいたします。

事務局担当 私の方から、議案第2号令和4年度標準農作業料金及び賃金表の決定について、ご説明いたします。

議案書16ページをご覧ください。昨年12月1日に普及センター、農協、三股町の関係機関と協議を行いまして、普及センターからは燃料費等の推移と農業機械等年間諸経費の算出を、農協からは受託者の意見の聴取をしていただきました。その協議の結果としまして価格据え置き案となっています。ただし、農作業労務費は宮崎県労働局の定める宮崎県最低賃金を採用していますので、28円増の821円になっています。

なお、一般畑作業については、従来から「アグリセンター都城」の料金を採用していますので、3月末頃に決定するその金額に書き換えることになります。以上です。ご審議方よろしくをお願いいたします。

議長 説明が終了しましたので、ここでご質問をお受けいたします。何かございませんか。

16番委員 16番です。今現在、燃料費の高騰が続いているんですが、その辺を踏まえた上で料金設定になっているのでしょうか。

事務局担当 昨年と比較して、1リットル当たりガソリンは23.4円、軽油は21.4円と増加していますが、米の仮渡金が前年比8割程度に低下していることから、昨年の価格と同額で試算しています。

議長 他にございませんか。

全委員 無し（の声あり）

議長 無いようですので採決に入ります。議案第2号令和4年度標準農作業料金及び賃金

表の決定について、ご同意いただける方は挙手をお願いします。

全 委 員 （全委員挙手）

議 長 全委員挙手でございます。議案第2号については、同意することに決定いたしました。次に議案第3号農地利用状況調査等の結果に伴う非農地判断についてを議題といたします。事務局の説明をお願いします。

事 務 局 議案第3号農地利用状況調査等の結果に伴う非農地判断についてでございます。議案書は17ページになります。今回、2件、4筆の11,093.00㎡の案件について、非農地かどうかの判断を求めるものでございます。この案件につきましては、昨年何度か同様の議案を提出しているところですが、そこで漏れていたものが判ったためにですね、今回議案とさせていただいたものでございます。状況調査ではいずれも山林原野化して農地状態にないという判断がされていた訳ですけど、先日1月13日にですね、地元委員である上西窪委員と永野委員宅を今回自宅訪問させてもらって、最終確認をしていただいたところです。両委員とも、いずれも山林原野化していて、今後も農地としての利用は見込めないだろうとの判断でございましたので、この4筆を非農地として判断してよろしいかお伺いするものです。ご審議よろしくをお願いします。

議 長 説明が終わりましたので、ここでご質問、ご意見をお受けいたします。

全 委 員 無し（の声あり）

議 長 無いようですので採決に入ります。議案第3号農地利用状況調査等の結果に伴う非農地判断について、ご同意いただける方の挙手をお願いします。

全 委 員 （全委員挙手）

議 長 全委員挙手でございます。よって、議案第3号については、同意することに決定いたしました。次に議案第4号農地法第3条許可申請による農業委員会の許可決定についてを議題といたします。事務局の説明をお願いします。

事 務 局 議案第4号農地法第3条許可申請による農業委員会の許可決定についてでございます。今月は15件申請がございまして、35,208.00㎡の内容となっております。案件9番は空き家バンクの特例による取得となっておりますが、その他は農地法第3条第2項各号に該当しないと判断しております。調査報告につきましては、調査報告書のまとの1、2ページに記載してありますので、ご審議方よろしくをお願いします。

議 長 ご質問をお受けします。何かございませんか。

全 委 員 無し（の声あり）

議 長 質問も無いようですので採決いたします。議案第4号農地法第3条許可申請による農業委員会の許可決定について、ご同意いただける方は挙手をお願いします。

全 委 員 （全委員挙手）

議 長 全委員挙手でございます。よって、議案第4号につきましては、すべて許可するものと決定いたしました。続きまして、議案第5号農地法第4条許可申請による農業委員会の意見決定及び許可決定についてを議題といたします。事務局の説明をお願いします。

事 務 局 議案第5号農地法第4条許可申請による農業委員会の意見決定及び許可決定についてですが、今月は7件の申請がございまして、8,946.00㎡の内容となっております。調査報告につきましては、調査報告書のまとの3ページに記載のとおりです。ご審議

方よろしく申し上げます。

議長 ご質問をお受けしますが、何かございませんか。

全委員 無し（の声あり）

議長 特に無いようですので採決いたします。議案第5号農地法第4条許可申請による農業委員会の意見決定及び許可決定について、ご同意いただける方は挙手をお願いします。

全委員 （全委員挙手）

議長 全委員挙手でございます。よって、議案第5号はすべて許可相当と決定いたしました。次に議案第6号農地法第5条許可申請による農業委員会の意見決定及び許可決定についてを議題とします。議案に対する事務局の説明をお願いします。

事務局 議案第6号農地法第5条許可申請による農業委員会の意見決定及び許可決定についてですが、正誤表にありますように1件の取下げが出されたため、申請件数は29件となりまして、面積も75,397.00㎡となります。調査報告は、調査報告のまとめの4ページから7ページに記載してあります。ご審議方よろしくをお願いいたします。

議長 説明が終わりましたので、質問をお受けします。何かございませんか。

全委員 無し（の声あり）

議長 他に無いようですので採決に入ります。議案第6号農地法第5条許可申請による農業委員会の意見決定及び許可決定について、ご同意いただける方は挙手をお願いします。

全委員 （全委員挙手）

議長 全委員挙手でございます。よって、議案第6号はすべて許可相当と決定いたしました。次に、議案第7号農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定による農業委員会の決定についてを議題といたします。事務局の説明をお願いします。

事務局 議案第7号農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定による農業委員会の決定についてでございます。まず所有権移転ですが、今月は22件の申請がございまして、57,467.00㎡の内容となっております。次に利用権設定ですが、70件の申請がございまして、151,446.00㎡の内容となっております。なお、公告につきましては、本日1月28日付けの予定でございます。

議長 ご質問をお受けしますが、何かございませんか。

全委員 無し（の声あり）

議長 無いようですので採決に入ります。議案第7号農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定による農業委員会の決定について同意される方は挙手をお願いします。

全委員 （全委員挙手）

議長 全委員挙手でございます。よって、議案第7号については原案どおり承認されました。次に議案第8号農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定による農業委員会の決定について（中間管理事業）を議題とします。事務局の説明をお願いします。

事務局 議案第8号農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定による農業委員会の決定について（中間管理事業）でございます。今月は、24件の申請で53,710.00㎡の内容となっております。なお、公告につきましては、本日1月28日付けを予定しております。

議長 この件について、何かご質問はありませんか。

全委員 無し（の声あり）

議長 何も無いようですので採決いたします。議案第8号農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定による農業委員会の決定について（中間管理事業）に同意される方は挙手をお願いします。

全委員 （全委員挙手）

議長 全委員挙手でございます。よって、議案第8号については原案どおり承認されました。これで本日予定の議案審議はすべて終わりましたが、皆さんの方から他に何かございませんか。

全委員 無し（の声あり）

議長 特に無いようですので、これで本年の第1回総会を終了したいと思います。皆さんお疲れ様でした。

令和4年 月 日

議事録署名委員

1 番委員

2 番委員

作製者 福丸 好文